

大田原市普通会計財務書類4表
(総務省方式改訂モデル)

普通会計財務書類4表の概要

1 貸借対照表

年度末における資産、負債等の状況を表した財務状況報告書

⇒これまでの行政活動によって形成された道路、建物、土地などの資産と、その資産を形成するために要した負債や財源との関係を表したもの

【資産の部】

| | |
|--|-----------------|
| 資産合計 | 1,305億5,928万1千円 |
| ○有形固定資産 | 1,176億4,412万6千円 |
| ⇒道路・河川・学校等の施設整備のために投資したもの | |
| ○売却可能資産 | 1億8,946万9千円 |
| ⇒公売予定地及び野崎地区土地区画整理事業保留地の売却可能価格 | |
| ○投資等 | 84億4,959万7千円 |
| ⇒大田原市水道事業、市関連財団法人等への出資金、貸付金、特定目的基金等及び地方税等の長期延滞債権 | |
| ○流動資産 | 42億7,608万9千円 |
| ⇒財政調整基金、減債基金、歳計現金及び地方税等の未収金 | |

【負債の部】

| | |
|---------------------------|---------------|
| 負債合計 | 394億5,031万8千円 |
| ○固定負債 | 356億2,864万7千円 |
| ⇒翌々年度以降償還予定地方債残高、退職手当引当金等 | |
| ○流動負債 | 38億2,167万1千円 |
| ⇒翌年度償還予定地方債残高、賞与引当金等 | |

【純資産の部】

| | |
|---|----------------|
| 純資産合計 | 911億 896万3千円 |
| ○公共資産等整備国県補助金等 | 206億1,702万7千円 |
| ○公共資産等整備一般財源等 | 849億3,219万4千円 |
| ○その他一般財源等 | △144億7,627万8千円 |
| ○資産評価差額 | 3,602万円 |
| ⇒翌年度以降の負担額のうち、144億7,627万8千円については、用途がすでに拘束されている。 | |

2 行政コスト計算書

会計年度内に提供した行政サービスに要したコストと、その財源である負担金や使用料などの収入を明らかにしたもの

⇒人的なサービスや給付サービスなどの資産形成につながらない行政サービスの活動実績をコストという側面から把握したもの

【経常行政コスト】 261 億 8,219 万 1 千円

○人にかかるコスト 52 億 3,523 万 2 千円（構成比 20.0%）

⇒人件費、退職手当引当金繰入等、賞与引当金繰入額

○物にかかるコスト 83 億 42 万 9 千円（構成比 31.7%）

⇒物件費、維持補修費、減価償却費

○移転収支的なコスト 121 億 4,337 万 4 千円（構成比 46.4%）

⇒社会保障給付、補助金等、他会計等への支出額、他団体への公共資産整備補助金等

○その他コスト 5 億 315 万 6 千円（構成比 1.9%）

⇒支払利息、回収不能見込計上額等

【経常収益】 9 億 5,133 万 3 千円

⇒保育所保育料、市営住宅使用料等

【差引純経常行政コスト】 252 億 3,085 万 8 千円

⇒市税、地方交付税及び補助金等といった一般財源等で賄わなければならないコスト

3 純資産変動計算書

貸借対照表の純資産の部について、会計年度内の動きを表すためのもの
⇒公共資産整備及び行政コストに対する財源投入や、国県補助金や市税等の収入により、貸借対照表の純資産がどのように増減したかを表したもの

【純経常行政コスト】 △252 億 3,085 万 8 千円

【一般財源】 199 億 4,476 万 3 千円

【補助金等受入】 63 億 6,819 万 9 千円

⇒純経常行政コストに対して、一般財源等が10億8,210万4千円超過している。

【臨時損益】 1 億 1,669 万 3 千円

⇒災害復旧事業費や公共資産除売却損益など、臨時的なコストや収入が発生している。

【科目振替】

○公共資産整備への財源投入 15 億 2,780 万 6 千円

⇒一般財源を公共資産等整備の財源として拘束

○公共資産処分による財源増 1,973 万円 5 千円

⇒公共資産の処分により一般財源へ

○貸付金・出資金等への財源投入 9 億 8,286 万 2 千円

⇒一般財源を貸付金、出資金等の財源として拘束

○貸付金・出資金等の回収等による財源増 10 億 8,749 万 9 千円

⇒貸付金等の回収により一般財源へ

○減価償却による財源増 38 億 2,136 万 8 千円

⇒公共資産の減価償却に伴い、減価償却費分を一般財源へ

○地方債償還に伴う財源振替 25 億 3,539 万 4 千円

⇒公共資産等整備の財源として発行した地方債の元金償還に伴い、一般財源を公共資産整備の財源として拘束

4 資金収支計算書

行政活動を歳計現金（資金）の流れからみたものであり、会計年度内における資金の増減を表したもの

⇒「経常的収支の部」、「公共資産整備収支の部」、「投資・財務的収支の部」の3つの区分から行政活動別の資金収支を表したもの

【経常的収支】 + 73億4,225万1千円

○支出合計 204億8,004万2千円

主な支出

人件費 51億7,556万1千円

物件費 39億788万2千円

社会保障給付 45億5,227万4千円

補助金等 37億1,459万2千円

○収入合計 278億2,229万3千円

主な収入

地方税 108億1,817万9千円

地方交付税 70億1,886万5千円

国県補助金等 49億9,111万1千円

地方債発行額 21億4,490万円

【公共資産整備収支】 △ 14億7,832万4千円

○支出合計 43億3,014万3千円

主な支出

公共資産整備支出 38億4,517万7千円

○収入合計 28億5,181万9千円

主な収入

国県補助金等 13億7,708万8千円

地方債発行額 13億4,230万円

【投資・財務的収支】 Δ 56億2,847万2千円

○支出合計 65億1,477万9千円

主な支出

貸付金 7億4,241万6千円

他会計等への公債費充当財源繰出支出

10億7,822万2千円

地方債償還額 31億7,822万6千円

○収入合計 8億8,630万7千円

主な収入

貸付金回収額 6億 427万4千円

公共資産等売却収入 1億7,800万4千円

【当年度歳計現金増減額】 + 2億3,545万5千円

⇒公共資産整備収支の不足額と投資・財務的収支の不足額は、経常的収支の黒字額で補てん。